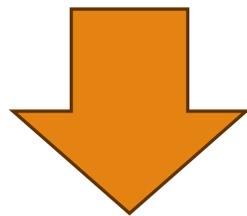


その症状ってもしかすると足の血管かも??

- ・最近散歩すると足がだるい。
- ・足の先が冷たい。
- ・整形とか診てもらってるけど、原因が良く分からない。



その症状、ひょっとすると足の血管が詰まってきてるかも……

間欠性跛行症状

間欠跛行の分類

間欠跛行は**神経性間欠跛行**と**血管性間欠跛行**の2つに分類されます。

原因となる疾患により神経性と血管性に分れます。また「どのような姿勢になれば楽になるか」ということで特徴が分かります。

神経性間欠跛行

代表的な疾患

Lumber Canal Stenosis (LCS)
腰部脊柱管狭窄症



血管性間欠跛行

代表的な疾患

Peripheral Arterial Disease (PAD)
末梢動脈疾患



- ・症状には神経性・血管性の2種類がある。
- ・当院では血管性について、内科的な治療が可能である。
- ・腰部脊柱管狭窄症と診断され整形外科に通院してるけど良くならない。
- ・腰部脊柱管狭窄症の患者様の3割程度は末梢動脈疾患も合併していると言われています。

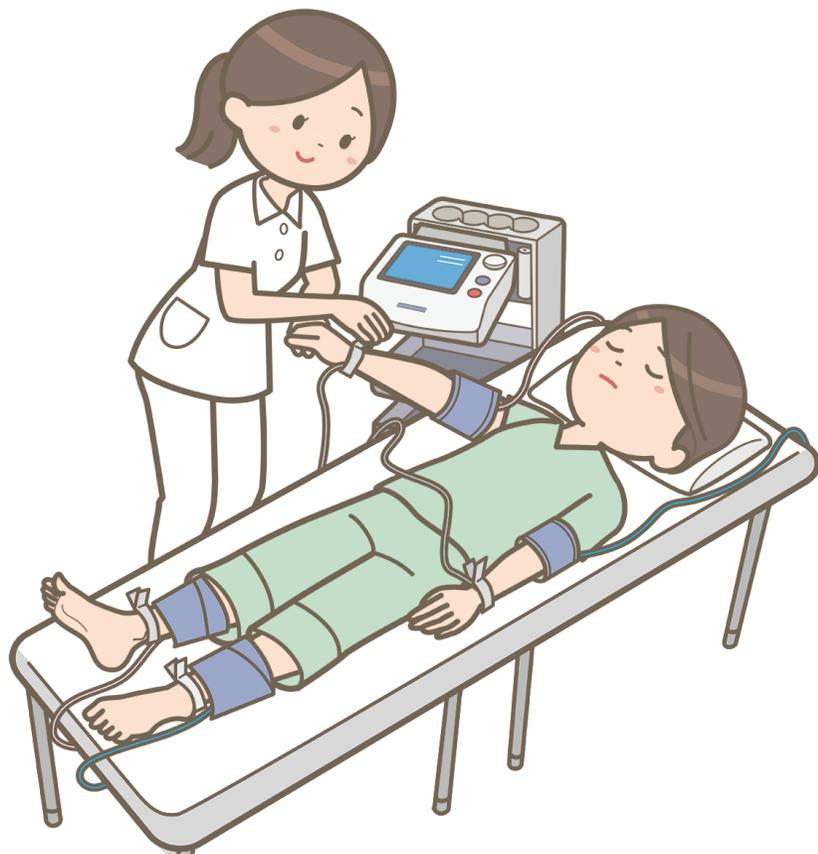
当院での検査・治療

- ①ABI検査：外来にて施行可能
- ②血管造影検査（CT）
- ③血管造影検査（カテーテル）
- ④カテーテル治療



医療法人社団敬生会
西北クリニック
Seihoku CL.

ABI検査



- ・四肢の血圧を測定しながら下肢の動脈硬化や血流を評価する検査です。
- ・最も低侵襲で安価なため様々な用途で検査しています。



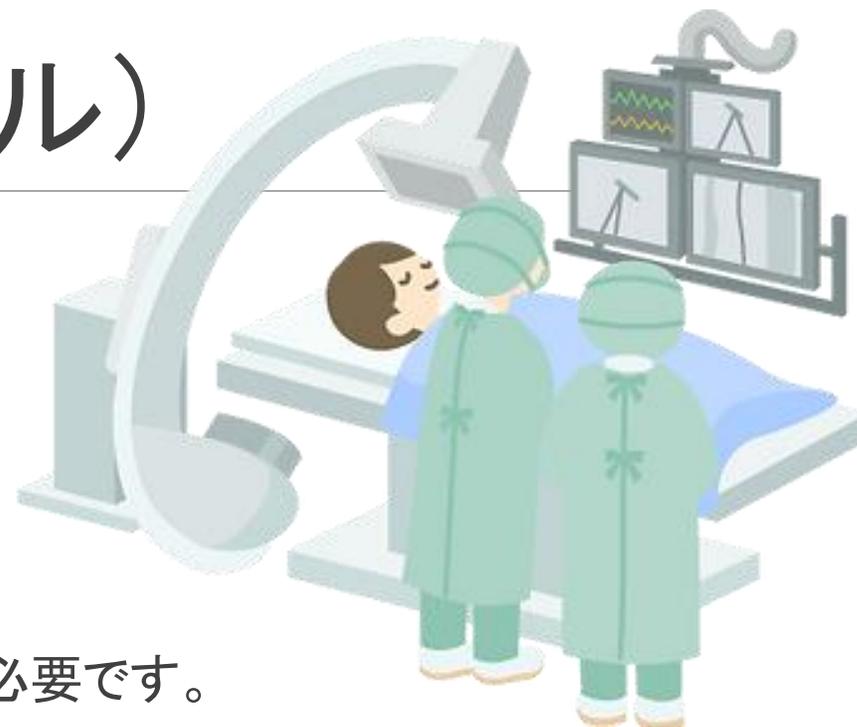
血管造影検査(CT)

- 造影剤を使用しCTを撮影します。
- ABI検査で陽性が出た方の精密検査です。
- 日帰りで検査可能ですが、造影剤の使用量が多いため腎機能によっては検査が困難な場合があります。
- 造影剤の影響で検査中体が熱くなります。
- 閉所恐怖症の方はご相談ください。
- ABI検査より精密検査になります。



血管造影検査(カテーテル)

- 下肢血管の検査の中で最も精密な検査です。
- 治療前の確定診断で行います。
- 閉所恐怖症の方でも問題なく検査可能です。
- 動脈から管を入れて行うため出血のリスクがあり入院が必要です。
- 造影剤は少量で検査でき、ごく一部の方を除いて腎機能に依存せずに、検査を行えます。



カテーテル治療

- ・これらの検査で、治療適応がある方の第一選択として当院ではカテーテル治療を、お勧めしています。
- ・カテーテル検査同様動脈から管を入れての治療です。
- ・治療部位や方法によって、内服薬の調整があります。
- ・他にも外科的治療や薬物療法がありますので興味がある方はご相談ください。

